

# よりよい学校づくりをめざして

～平成26年度 学校生活アンケートを通して～

平成26年12月に実施した学校生活アンケートの結果を報告します。本年度は、アンケート項目を見直し、項目数の削減をするとともに、回答に「(5) わからない」選択肢を追加しました。

評価基準 S評価：90%以上が肯定的評価

A評価：80%～90%未満が肯定的評価

C評価：60%～70%未満が肯定的評価

B評価：70%～80%未満が肯定的評価

D評価：60%未満が肯定的評価

## 1 アンケート結果

番号	アンケート項目	保護者			児童		
		26年度	25年度	増減	26年度	25年度	増減
1	学校での生活が楽しい	S	S		S	A	+1
2	友達と仲よく過ごす	S	S		S	S	
3	家族・近所の人への挨拶	B	B		B	B	
4	授業はわかりやすい	C	S	-3	A	A	
5	少人数指導		B		A	B	+1
6	校区の学習、校区の人からの指導		A		B	A	-1
7	毎日宿題に取り組む	D	A	-3	A	A	
8	すすんで本を読む	D	D		B	B	
9	言葉づかいに気をつける		C		C	C	
10	社会のルール・マナーの指導	B	A	-1	C	B	-1
11	朝食・早寝早起き・歯磨き	A	A		A	A	
12	命を大切にできる心・豊かな心育成の指導	B	A	-1	S	A	+1
13	体力づくりの指導・実践	B	A	-1	B	A	-1
14	教育相談	C	C		A	B	+1
15	いじめ・けんかの指導	D	B	-2	B	A	-1
16	児童の自主性・社会性の育成		S		A	A	
17	掃除や係の仕事の指導		S		S	A	+1
18	よさや努力を認める指導		A		A	B	+1
19	交通安全指導	S	A	+1	S	S	
20	通学のきまり・登下校		B		A	A	
21	地震・火災・不審者指導	A	A		S	A	+1
22	授業公開・学校行事	A	S	-1			
23	学校からの情報発信	S	B	+2			
24	地域・保護者の声の把握	B	A	-1			
25	P T A・地域との連携・協力	B	A	-1			
26	清掃指導		A				
27	花壇・学年園の整備		A				

### (1) 特筆すべき傾向（児童）

- ・ 1「学校生活が楽しい」、12「命を大切に作る心」、21「地震・火災・不審者対策」が、A→Sに上がりました。
- ・ 10「社会のルール・マナー指導」が、B→Cに下がりました。

### (2) 特筆すべき傾向（保護者）

- ・ 23「学校からの情報発信」が、B→Sに、19「交通安全指導」が、A→Sに上がりました。
- ・ 4「授業はわかりやすい」、7「毎日宿題に取り組む」、15「いじめ・けんかの指導」が、2ないし3ポイント下がりました。「(5) わからない」との回答が増加したことが要因の一つと考えられます。

## 2 アンケート結果からみた課題と今後の取り組み

### (1) 集団生活に必要なマナーやルールの醸成

- ・ 9「言葉づかい」、10「社会のルール・マナー」の項目が、児童評価Cでした。子どもたち自身が、これらができていないという自覚をもっているようです。他人を思いやれる温かな言葉、社会の中で生きていけるためのルールやマナーを身につけさせる生活指導へ取り組んでいきます。
- ・ アンケート項目3の「挨拶」については、保護者記述にも、「挨拶ができなくて残念」「さみしい」等の意見をいただきました。鷹丘小学校が、気持ちのよい元気な挨拶のできる学校にしていきたいと思えます。

☆たかおかだましの再確認☆

た：正しい身なり、名札もしっかり	だ：黙って着席、チャイムで授業
か：階段、廊下は静かにゆっくり	ま：まっすぐ気をつけ、挨拶MAX
お：大きな声で元気に挨拶	し：しっかり聞こう、心も目も相手に向けて
か：必ず守ろう時間ときまり	い：いつもばっちり、学習用具



### (2) 児童と保護者の評価の差異

- ・ 4「授業はわかりやすい」、7「宿題に取り組む」、8「すすんで本を読む」、14「教育相談」、15「いじめ・けんかの指導」は、児童が比較的高評価であるのに対し、保護者は低い評価を示しています。ここでも、「(5) わからない」との回答が増加したことが要因の一つと考えられます。しかし、児童の評価が高いことに慢心せず、「学校だより」「学年だより」をはじめ、各種たよりやHP等を通して、校内の状況について広く知らせる必要があると考えています。
- ・ 保護者の皆さまにおかれましては、学校行事や学校自由参観日等に足を運んでいただいたり、学校で行う各種ボランティア活動に積極的に参加いただいたりし、「開かれた学校づくり」に更なるご理解とご協力をお願いします。

根本理念である「子どもを大事にする学校」をぶらすことなく、本年度の学校生活アンケートから見えてきた課題に対して、改善に力点を置くポイントを以下に示します。

- ① 保護者、地域と共同し、元気な挨拶ができる子どもを育みます。
- ② 子どもたちに「わかる授業・わかる喜び」を体得させ、自らすすんで学習に取り組める意欲ある子を育てます。
- ③ 「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」を校内に実現するために、より具体的な活動を推進します。
- ④ 開かれた学校が信頼につながることを認識し、積極的な情報発信に努めます。

これらの取り組みを常に念頭に置き、子どもたちを主役に考えた教育活動を推進していきます。引き続き、皆さま方のご理解とご協力をお願いします。